

Tetra test

pH KH Ca NO₂⁻ NO₃⁻

5 in 1

テトラ テスト 5 in 1 マリン 取扱説明書

⚠ 注意

- 乳幼児の手の届くところに置かないでください。
- 取扱説明書にしたがい、正しくご使用ください。
- テスト試験紙は流水中に浸し続けしないでください。
- 未使用のテトラ テスト試験紙は、ただちにフタを閉めて冷暗所に保管してください。
- より広範囲で詳細な測定を行う際は、テトラ テスト試薬をご使用ください。
※品質保持期限は比色表下側に記載。

輸入発売元: テトラ ジャパン株式会社
〒153-0062 東京都目黒区三田1-6-21 アルト伊藤ビル
製造元: ドイツ テトラ社
お問い合わせ | **03-3794-9977**

Tetra

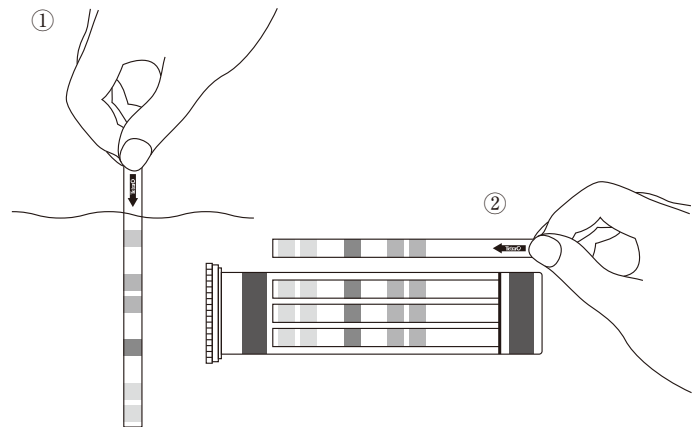
テトラ ホームページアドレス www.tetra-jp.com

海水で重要な5つの水質を一度に素早く簡単にチェックします。

テスト方法

- ①試験紙を水槽の水に1秒ほど浸けてから、余分な水分を振り落とします。(①図参照)
- ②60秒後、容器の比色紙と比べてください。(②図参照)

(注意) 試験紙は流水にさらさないでください。
水槽水に浸した後に、試験紙に付着している余分な水分は振り落としてください。
試験紙を取り出した後は、容器のフタをしっかりと閉めてください。



ペーハー (pH)

水のpH値は水中に溶けている水素イオン(H⁺)の量と水酸イオン(OH⁻)の量の釣り合いで決まります。すなわち水素イオンが水酸イオンより多くなると酸性(<pH7)、水酸イオンが水素イオンより多くなるとアルカリ性(>pH7)、釣り合うと中性(pH7)となります。
海水魚の多くは、8.2~8.6のpH値ですが、種類によっては最適なpH値が異なります。

炭酸塩硬度 (KH)

炭酸塩硬度(KH)は、炭酸塩(HCO₃⁻)の含有量によって決まります。KHとpHの値は相互に依存するため、pHを管理する上でKHの測定は特に重要です。本品は、ドイツの硬度を表す指標である°dHで表されます。

- *炭酸塩硬度が高くなるほど、水はアルカリ性になりやすくなります。すなわち、pH値も高くなりやすくなります。また、緩衝作用によって酸性になりにくくなります。
- *炭酸塩硬度が低くなるほど、水は酸性になりやすくなります。すなわちpH値は下がりやすくなり、不安定になります。また、pH値が急激に低下し、魚にとって非常に危険な環境となる恐れもあります。

炭酸塩硬度8°dH~10°dHのレベルが、ほとんどの海水魚に適しています。

カルシウム (Ca)

カルシウムは海水水槽の重要な要素です。
天然海水のカルシウム濃度は420mg/lです。
この濃度を海水水槽でも推奨します。
カルシウム濃度が低下しましたら、カルシウムが強化配合されたテトラ マリンソルトプロでの水替えをおすすめします。

亜硝酸塩 (NO₂⁻)

水槽内で残餌や魚の排泄物などが原因で発生したアンモニアは、フィルターのろ材や水槽内のろ過バクテリアの作用で亜硝酸塩を経て硝酸塩へ変えられています。
亜硝酸塩が高い場合、生物ろ過によって有機化合物が十分に分解されていないことを示します。亜硝酸濃度がある数値以上に高くなると、呼吸困難に陥ってしまいます。

- 亜硝酸塩レベルが2.5mg/lを超えたら、
 - *水の部分替えを行います。
 - *フィルターの定期的なお手入れも必要です。フードの与え過ぎとフィルターの汚れは、水槽の水の亜硝酸レベル上昇の主な要因です。
 - 亜硝酸塩レベルが5mg/lを超えたら、
 - *水槽水の全交換を行います。
 - *硝化バクテリアによって亜硝酸塩が硝酸塩分解されるまでフードは制限し、必要に応じて部分水替えを繰り返します。
 - *別売りのテトラ テスト アンモニア試薬でアンモニアをチェックします。
- (注意) 水槽セット直後はろ過バクテリアが十分に発生していないため、特に亜硝酸塩が増加しやすいのでチェックが必要です。
10mg/lの色の場合、それ以上の濃度になっていることを示しますのでご注意ください。

硝酸塩 (NO₃⁻)

水槽内のろ過バクテリアによって最終的に生成される硝酸塩は、毒性の点ではアンモニア、亜硝酸塩に比べて弱いものです。
しかし、硝酸塩レベルが10mg/lになると無脊椎動物等に影響します。

- 硝酸塩レベルが25mg/lを超えたら、
 - *部分水替えを行います。